

平成 28 年度 第 2 回 学校協議会報告

【日 時】 平成 28 年 11 月 30 日（水）18 時～20 時 授業見学後、応接室にて話し合い

【出席者】

学校協議会委員：岩井 英雅（元府立学校准校長）大原 武史（寝屋川市立第一中学校長）
土 静江（北水会）神戸 尚史（校医、産業医）
水野 洋子（PTA 定時制委員会副委員長）

准 校 長：大森 孝志

事 務 局：伊藤 牧子（教頭）北村 陽子（首席・養護教諭）

安田 晃（教務主任）沼田 慎也（生徒指導主事）小澤 靖典（進路指導主事）

原川 亜理紗（保健主事）林 雄大（4 年学年主任）神原 優希（3 年学年主任）

庄司 樹生（2 年学年主任）亥野 良祐（1 年学年主任）

1 開会

2 会長挨拶

2 准校長挨拶

3 授業見学 1 限 1－3 国語総合（鈴木） 4－1 日本史（西本） 3 年 体育（庄司）

4 協議

(1) 学校経営計画の進捗状況について（学校側から学校協議会へ報告）

○日常的に、各教科が授業改善に関することを意識し、授業アンケートの評価は全体的に昨年度より高くなっている。

○授業への ICT（情報機器）導入が増加したことと、アクティブラーニング（主体的な学び）を取り入れた授業を現在研究中である。

○わかりやすい授業の実践促進のために職会議等において、良い授業や ICT 活用術のシェアをした結果、教員の授業への意識が高まっている。准校長としては、もっと生徒を授業に巻きこむために生徒に考えさせる授業を心がけてほしいと考えている。

○来年度の教科書選定は完了した。

○あいさつ指導の成果として、自発的にあいさつができる生徒が増加している。

○明月祭を二日間開催し、外部からの参加者にもゆっくり見ていただくことができた。

○ボランティア清掃に参加してくれる生徒が増加した。

○現在の進路状況

学校紹介就職希望 17 名中 9 名内定 進学 大学 2 名 短大 2 名 専門学校 5 名

○今年度 9 月から生徒の保健委員会を発足させた。

活動を通して、仲間意識、社会性、自尊感情の育成、学校生活の充実感などの効果を期待している。主な活動内容は、健康に関する啓蒙活動や、校内美化に関するもの。

生徒たちから「やりがいある。」「人のためになるのがうれしい」などの声を聞いている。

- 避難訓練後に防災講演会を実施し、地域（寝屋川市・自治会）との連携の第一歩となった。
- 教職員がベクトルを合わせ、それぞれの分野での取組を前向きに実施し、学校全体は良くなってきている。

(2) **第1回授業アンケート結果**

- 携帯指導の効果として、授業態度に関する項目が著しく良くなった。
- その他の項目も全体的に右肩上がりに良くなっている。
さらに授業力を上げるような助言があればお願いしたい。

(3) **学校協議会からの意見**

- 生徒の保健委員会活動が、クラブ等、どこにも所属していない生徒の活動の場になればよい。
- ICTの活用について
 - ・パワーポイントなどのスライドを使えば、授業を欠席した生徒へ授業内容を容易に配付することができるのではないか。
 - ・スライドは、復習に紙芝居方式で使えるので効率がよい。プリントアウトして配付してもよい。
 - ・図書室のパソコンや携帯からも授業で使ったスライドを閲覧できるようにすればよいのではないか。
- 明月祭は、以前よりも生徒たちが主体的に活動し、いきいきとしていた。
- 小中学校を通して不登校だった生徒が、定時制で活躍している。障がいのある生徒も頑張っている。そんな生徒たちの姿を見て嬉しかった。教師が、「これが大事である」と教えるよりも、生徒が自分にとって大事なことだと捉える事ができるかどうか、自分にプラスになることに能動的になることができるかどうかが大切である。
教室で誰か話をしているときに、教師が「聞きなさい。」と指導すると、指導しなければ静かに聞くことができないようになってしまう。状況を判断して、自分は今何をしなければならぬかを考えさせることが重要だ。転ばぬ先の杖を用意しすぎて、生徒がやっていることに対しての意義を見失ってしまうことが心配だ。中学校で力足らずの所を定時制が補ってくれていると感じる。